

サロンコンサート in クララザール

パリの調べは
春風に乗って

ピアノコンサート & ホワイエパーティー

出演：セリア・オネット・ベンザード、フィリップ・レオジェ

ホワイエパーティー 19:15~19:45

出演者とソフトドリンクwith 軽食

パーティー会費：1,000円

(参加希望の方のみ当日現金にて)

2019年

5月16日(木)

17:30開場 18:00開演

会場：クララザールじゅうろく音楽堂

50組 100名さま抽選によりご招待

(お申込方法は下記をご参照ください)



申込方法

3月15日(金)→3月27日(水)、十六銀行ホームページ(<https://www.juroku.co.jp>)にて申込受付を開始いたします。
申込の際、ホワイエパーティー参加の有無をお申出下さい。(参加の場合、当日会費1,000円申し受けます)

申込締切

2019年4月15日(月)→4月17日(水)

当選発表

当選通知の発送をもって代えさせていただきます。(2019年4月19日(金)までに発送予定)

お問い合わせ先

公益財団法人 十六地域振興財団 クララザールじゅうろく音楽堂 事務局 TEL:058-266-2552

※就学前のお子さまのご同伴はご遠慮ください。 ※お申込に際し、ホームページにていただきました個人情報は、当イベント実施以外の目的で利用することはありません。

主催：公益財団法人 十六地域振興財団 共催：サランカホール

後援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本



セリア・オネト・ベンザード(ピアノ)
Celia Oneto Bensaid, piano

いま、フランスで最も注目を集める若手女流ピアニスト

フランス期待の新星として、いまもっとも注目を集める若手女流ピアニスト。俳優一家に生まれ、幼少期からピアノの才能を発揮。2010年、パリ国立高等音楽院に満場一致で入学。ピアノ、室内楽、伴奏で優秀賞を受賞して卒業後、マリア・ジョアン・ピリス、ブリジット・エンゲラー、アンヌ・ケフェレックなど一流ピアニストのもとで研鑽を積んだ。数々の国際ピアノコンクール(ピアノ・キャンパス、アンドレ・シフラ財団国際コンクール、ブーランジェ国際

コンクールなど)で受賞して一躍注目を集め、2017年には、スイス・ジュネーヴ芸術協会の聴衆賞にも選ばれた。フランス、イタリア、スペイン、イギリス、スウェーデン、スイスなどで頻繁にリサイタルを行うほか、ヨーロッパの著名オーケストラとの共演や、ジャコバン・ピアノ国際音楽祭、ラ・ロックダンテロン・ピアノフェスティヴァルなど各地の音楽祭にも招かれている。古典から現代まで、じつに膨大なレパートリーを誇るのも彼女の実力の証である。バッハ、スカルラッティ、ハイドン、ベートーヴェン、モーツァルトなどの古典から、ショパン、シューマン、リスト、ドビュッシー、ラヴェル、ラフマニノフ、バルトーク、シェーンベルク、メシアン、リゲティまでを弾きこなす。2017年には、アンドレ・ボワソウ賞を受賞し、ガーシュイン、バーンスタインというアメリカ合衆国の音楽作品を集めたソロ・アルバム『アメリカン・タッチ』を発表するなど、その多彩な活動には目が離せない。

フィリップ・レオジェ (ピアノ)
Philippe Léogé, piano

フランス・ディスク大賞受賞! あのシャンソンの名曲が、 洗練されたジャズ・ピアノで!

バークリー音楽院(ボストン)で学んだあと、バンドリーダー、音楽監督、ピアニスト、アレンジャーという多彩な分野で活躍。自身が創設したビッグバンド・ギャロンヌに、デヴィッド・リンクス、テレス・モンカウム、モリー・ジョンソン、ケリリー・エヴァンス、リチャード・ガリアーノ、クロード・エジー、リオネル・シュアレスなどアーティストを招聘する。

1998年、現在も芸術監督をつとめるジャズ・フェスティバルを開設。90年代に著名なフランス人歌手、バリー・ホワイトやD. D. ブリッジウォーターなど国際的スターのために、テレビ番組やミュージックホールでアレンジやオーケストレーションを提供する。2002年より、ピアニストとして活動に専念する。海外でノルウェー、スウェーデン、ドイツ、中国、韓国、フランス国内でジャズ・イン・マルシアク、ピアノ・オン・ヴァロア、ジャズ・ア・カンヌ(ヴィラ・ドメルグ)、サヴール・ジャズ・フェスティバル、ウォルフィ・ジャズ、エスプリ・ドゥ・ピアノ・ア・ボルドー、ジャズ・ア・コニャックなどジャズ・フェスティバルや各地劇場でリサイタル・シリーズを開催。14年に発表したフレンチ・シャンソン名曲をジャズにアレンジしたソロ・アルバム『My french standards songbook』、リリカルなピアノが絶賛され、「レクスプレス」「クラシカ」「ピアニスト・マガジン」など各誌で年間ベスト・ジャズCDに選出された。

